

## ■ 2022年度 農作業安全啓発資材

2022年

### 3種類の農作業安全啓発資材展開

2022年7月から各農家へ農作業安全推進運動の啓発資材を配布。  
その後、農業者に対し当該資材の活用状況を取材し、問題点や課題抽出を行いました。

#### 「安全アクション」ポスター

#### ステッカー

#### デジタルフレーム



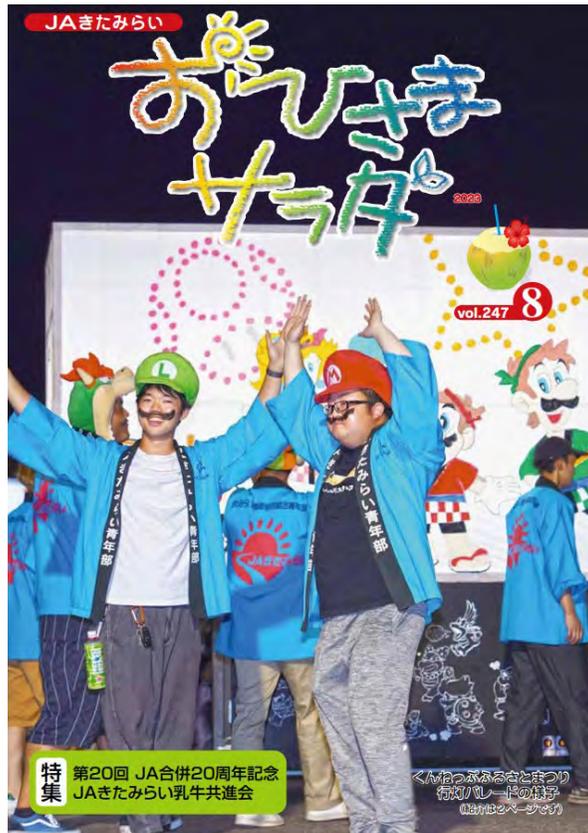
## ■ 2022年度 農作業安全啓発資材

2022年



## 2023年度 農作業安全啓発資材 公道走行対応農機の事例紹介

2023年度は、トラクタへの公道走行対応キット装着訴求する安全啓発資材として制作し、広報誌や青年部集会等への活用を想定しデジタルデータで提供しました。



JAからの お知らせ  
**INFORMATION**

### 公道走行対応事例 (ホクレン訓子府実証農場)

トラクターにブームスプレイヤーを装着し公道走行するケース(幅2.5m超)

**装着前**

2.70m

**汚れをチェック**  
泥などが付着していると視認性が低下します。灯火器類をキレイにして公道を走行しましょう。

**装着後**

灯火装置および反射器の設置

**後方**

- 後方反射器 (赤色) コンビネーションランプ
- 後測灯
- 前方反射器 (白色)

**制限標識**  
全幅2.70m 運行速度 15km/h以下

**外側表示板**

前方

- 外側表示板

上記のルールは一例です。詳しいルールは農林水産省HPや日本農業機械工業会HPで確認を！

**オホーツク 農作業事故 0宣言**  
オホーツク地区農作業安全運動推進本部

### トラクターが作業機を装着して公道走行できるようになりました

ルール通り対応することで夕暮れ時の視認性が格段に向上し、農作業の安全確保につながります！

灯火器類装着前

灯火器類装着後

◆ 2種類の作業機に分けて条件が決まっています  
諸条件・保安上の制限を満たせば公道走行可能です

**直装タイプの作業機**

後方装着

- ロータリー
- ハロー
- ブロードキャスター
- 碎草り機
- ライムソウ
- ブームスプレイヤー 他

前方装着

- フロントローダー 他

**被けん引タイプの作業機**

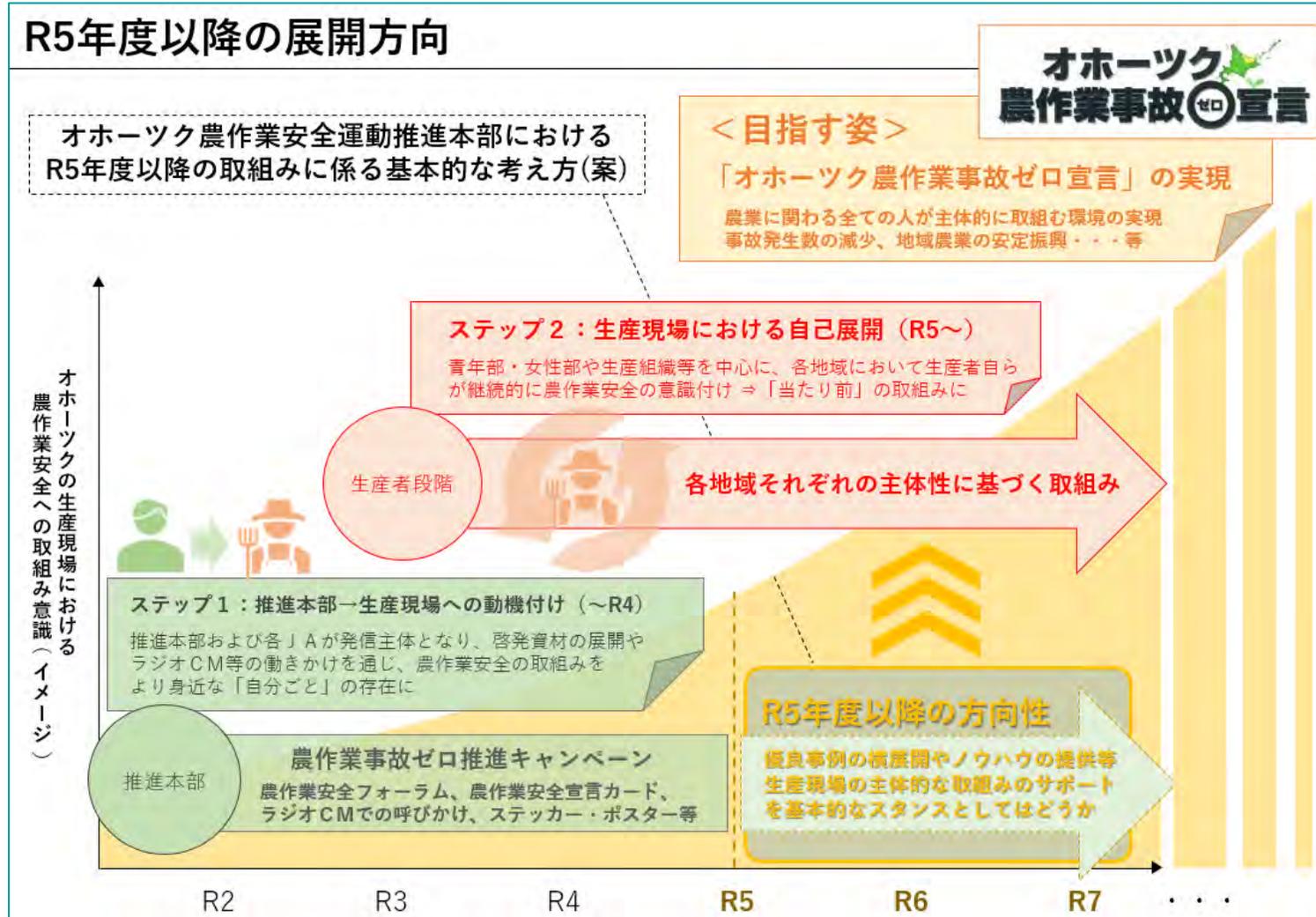
- ロールベアラー
- トレーラー
- マニュアルブレッダ
- バキュームカー 他

作業機の幅が2.5mを超える際は「特殊車両通行許可」を申請する必要があります(オンライン申請も可です)。

**オホーツク 農作業事故 0宣言**  
オホーツク地区農作業安全運動推進本部

(出所) JAきたみらい広報誌「おひさまサラダ」vol.247 2023.08発行

## ■ オホーツク地区農作業安全運動推進本部の展望



(出所) オホーツク農業協同組合長会「オホーツクにおける農作業安全運動推進に係るこれまでの経過と今後の方向性について」(令和5年3月14日)

## 2-2. 北海道クボタの取り組み

### ■ 農作業安全に関する指導者を追加養成

全国188名の指導者に、新たに89名が指導者養成研修を受講しています。  
(最終2023年9月20日修了予定)

#### 農業機械・農作業安全研修計画

農作業安全推進研修						
農作業安全に関する指導者向け研修	I	(オンライン研修)	都道府県、市町村、農業団体の職員、農業機械メーカー・販売店、農業機械士等(注2)	1日	200人	5月30日
	II	農作業安全推進の背景・目的と概要、労働安全の基本、農作業事故の要因と対策、農作業事故を防ぐには、など		1日	200人	6月20日
	III			1日	200人	7月11日
	IV			1日	200人	8月1日
	V			1日	200人	8月23日
	VI			1日	200人	9月20日
安全指導実践研修 対話型研修実施手法習得コース		(オンライン研修) 参加者同士が意見交換する形式である対話型研修に関する実習、実施手法の解説 など		1日	20人	12月15日
安全指導実践研修 総合コース		農作業安全対策、リスクアセスメントの導入と効果、農作業安全研究の講義、乗用型トラクターの傾斜面、各種作業機の安全確保(畦越え等、歩トラ、刈払機、チェーンソー)の実習		4日	10人	8月29日~9月1日 (2日間の受講可)

(出所) 農林水産省「令和5年度 農業機械・農作業安全研修計画」

## 2-2. 北海道クボタの取り組み

### ■ 北海道クボタ版 シートベルト装着啓発ステッカー

定期点検整備済のトラクタに貼付して納品、シートベルト装着を促進します。



## 2-2. 北海道クボタの取り組み

### ■ 小型トラクタによる転倒角度体験装置、シートベルト装着訴求



(於) 国際農業機械展in帯広2023 北海道クボタブース

## 3. スマート農機の取り組み

# 3-1. スマート農機の取り組み

## ■ スマート農業の効果

### スマート農業

ICT、ロボット技術を活用して、超省力・高品質生産を実現する新たな農業

1

超省力・大規模生産を実現



GPS自動走行システム等の導入による農業機械の夜間走行・複数走行・自動走行等で作業農業の限界を打破

2

作業能力を最大限に発揮



センシング技術や過去のデータに基づくきめ細やかな栽培により（精密農業）、作物のポテンシャルを最大限に引き出し多収・高品質を実現

5

消費者・実需者に安心と信頼を提供



クラウドシステムにより、生産の詳しい情報を実需者や消費者にダイレクトにつなげ、安心と信頼を届ける

3

きつい作業、危険な作業から解放



収穫物の積み下ろしなどの重労働をアシストスーツで軽労化するほか、除草ロボットなどにより作業を自動化

4

誰もが取り組みやすい農業を実現

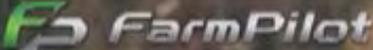


農業機械のアシスト装置により経験の浅いオペレーターでも高精度の作業が可能となるほか、ノウハウをデータ化することで若者等が農業に続々とトライ

これらの推進は、  
農作業安全にも大きな効果をもたらすものと考えます。  
当社はスマート農機の開発、普及を通じて、農作業事故の防止に貢献して参ります。

## 3-1. スマート農機の取り組み

### ■ アグリロボトラクタ（無人仕様）

クボタトラクタ  
MR1000AH (100PS)  
**Agri Robo**   




## 3-1. スマート農機の取り組み

### ■ アグリロボ 田植機（無人仕様）

田植え、その先へ

# Agri Robo

NW8SA NW10SA

NW8SA・NW10SA

8・10条植



## 3-1. スマート農機の取り組み

### ■ アグリロボ コンバイン（無人仕様）

2024年1月、無人仕様コンバインDRH1200A-Aを発売予定。クボタはトラクタ、田植機、コンバインの各機種にて無人自動運転仕様（レベル2）をラインアップします。



アグリロボコンバインDRH1200A-A（2024年1月発売予定）

2020年10月、NVIDIAとの戦略的パートナーシップにより、農業のスマート化を加速。  
NVIDIAのGPU（画像処理半導体）を活用したAIカメラを搭載して安全性を高めました。



引き続き、安全で豊かな農業の発展に取り組んで参ります。

みんなひとつに。  
農作業安全。



**For Earth, For Life**  
